

YAMATO

PARA COOLER

PC-110

取扱説明書

このたびはパラクーラーPC-110をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、本機の性能及び使用法をご理解ください。
また、万一輸送荷役等の不適當により破損その他異常が発生してありましたら、ただちにお
買い上げ店までご連絡ください。

安全上の注意

取扱説明書中の注意事項は製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々
への危害や損害を未然に防止する為のものです。

また、注意事項は「警告」「注意」の二つに区分してあります。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容



人がけがをしたり物的損害が想定される内容

大和光機工業株式会社

1、装置の取り付けと設置

- ミクロトームへの取り付け

- ・ YAMATO ROM シリーズ、サクラ CRM シリーズ

ミクロトーム本体にある標本固定器固定ノブを緩めて元々付いていた標本固定器を取り外します。

PC-110 の標本固定器部をミクロトーム本体に取り付け標本固定器固定ノブを締め付けて固定します。

☞ 標本固定器の付け外しについて詳しくはミクロトームの取扱説明書をご参照ください。

- ・ TU、LS シリーズ

PC-110 の標本固定器の下に付いている樹脂製の角ブロック部を標本固定器に挟んで固定してください。



手や指の切断や切傷の恐れがありますので、標本固定器の付け外しを行う際はミクロトームナイフを外した状態で行ってください。

- 本体の設置

ホースやコードが急に折れ曲がったりしないように本体を設置します。設置する場所は机の上でも足元でも構いませんが、急な傾斜になっている所は避けて設置して下さい。また、本体右側は冷却風の吹出口となっていますので壁から 20cm 以上離して設置してください。

本体からでているコンセントコードをコンセントに差込んで設置完了です。



火災等の原因となる恐れがありますので本体の周りには十分なスペースを確保してください。また、本体の近くに燃えやすいものを置かないでください。



感電や機器の故障の恐れがありますので、コンセントは濡れた手で触らないでください。また、コンセントを抜き差しするときはコードを引っ張らずに、必ずプラグ部分を持って行ってください。

2、使用方法

本体前面の「POWER」と書かれたスイッチの上部を押すと電源が入ります。標本固定器部の冷却が始まり約 10 分で使用可能温度に冷却されます。

(室温等の使用条件により使用可能な状態になるまでの時間は前後します。)

標準のワンタッチ式標本固定器と同じようにご使用ください。

使用後は「POWER」スイッチの下部を押して電源を切り、標本固定器部が常温になってから水滴をよく拭いてください。

- ☞ 標本固定器は室温との大きな差により水滴が発生します。タオル等で適度に水滴を除去してください。
- ☞ 保温効率を向上するため、使用するカセットのパラフィン量は多めに流入してください。また、オプションでより保温効率の良いアルミ製ブロックを取り扱っております。

3、冷却水の交換方法

本体上部のタンクキャップを半時計回りに回して外します。

本体背面にある上側のホースをイジェクトボタンを押しながら引き抜きます。

抜いたホースに排水用コネクタを差し込みます。

電源を入れて、排水コネクタから冷却水を排出します。(勢い良く冷却水が出ますのでご注意ください。)

排水が終わったら一度電源を切り、ホースのイジェクトボタンを押しながら排水コネクタを外します。

排水コネクタを外したホースを本体背面のプラグにしっかりと差し込みます。

タンクの 9 分目まで新しい水(水道水)を注水します。(本体は完全防水にはなっていません。本体が水浸しになるような注水方法は避けてください。ヤカンなどを使い、できるだけ水をこぼさないように注水してください。)

電源を入れ、新しい冷却水を循環させます。

タンクの水が減ったら再び 9 分目まで水を補充します。

タンクキャップをしっかりと締め、本体を左面を下にして寝かせてエア抜きをします。

ホース内をエアが通らなくなったら再びタンクの 9 分目まで注水して完了です。

4、仕様

| | |
|---------------|----------------|
| 入力電源 | AC100V 50/60Hz |
| 最大消費電力 | 70VA (約 60W) |
| 一次冷却方式 | ペルチェ水冷方式 |
| 二次冷却方式 | 強制空冷式 |
| 冷却水循環方式 | ポンプ圧送式 |
| ヒューズ容量 | 2A |
| 本体サイズ(突出部を除く) | W195×D310×H240 |

5、トラブルシューティング

Q、標本固定器部が冷えません

- ✓ 「POWER」スイッチの上部が押されていますか？
「POWER」スイッチの上部を押して電源を入れてください。
- ✓ 標本固定器部から来ているプラグが抜けていたり抜けかけていませんか？
プラグをしっかりと差し込んでください。

該当しない場合

断線の可能性があります。製造元にお問い合わせください。

Q、電源が入りません

- ✓ コンセントが抜けていたり抜けかけていませんか？
コンセントをしっかりと差し込んでください。
- ✓ ヒューズが切れていませんか？
本体背面にあるヒューズケースを反時計方向に回してヒューズが断線していないか確認してください。
- ✓ コンセントコードが途中で潰されていたり、急に曲げられていませんか？
問題を解決しても一度断線したコードは熱を持ち火災の原因になりますので使用をやめて製造元にお問い合わせください。

該当しない場合

内部のヒューズが断線している可能性があります。製造元にお問い合わせください。

Q、標本固定器部が熱いのですが

標本固定器部左側は多少温かくなります。その場合故障ではありません。

標本固定器部全体が高温になっている場合は、すぐに使用を中止し、以下の点を確認してください。

- ✓ ホースが途中で折れ曲がっていませんか？
ホースが急に折れ曲がらないように設置しなおしてください。
- ✓ ホース内に気泡が入っていませんか？
エア抜きが必要です。製造元にお問い合わせください。

該当しない場合

このまま使用すると大変危険です。製造元にお問い合わせください。

製造元 **大和光機工業株式会社**

埼玉県朝霞市膝折町 2 - 1 4 - 4 3

TEL:048-465-2314 FAX:048-465-0029